

# 浅野の さとし

新しい力で未来を拓く



ふるさと  
「ひと」と「地域」が主役の  
安心・活力社会の実現

## 「浅野さとし」ってこんな人！

真、先に妻に相談



妻の言葉に  
ハッとさせられた

苦悩した1ヵ月間



君の判断を  
尊重するよ

自分は  
挑戦してみたい

副委員長 職場上長と  
数えきれないほど面談

1ヵ月が経ったあの日



分会長に率直な思いを  
伝えた

つづく

詳しくは  
「コラム哲流」  
を見てね

浅野さとしの考えを知る  
コラム



## 哲流 サトシイズム

第6回

「決断」～②挑戦したい想いと家族の将来の間で苦悩～

「国政に挑戦してみないか？」この問い掛けにどう応えるべきか、私はもがいていた。元来、高い壁ほど乗り越えたい性格だった私は、これまでの人生でも、簡単な道と難しい道があったら必ず難しい道を選んできた。本来の自分は「挑戦したい」と言っている。しかし、夫としての自分、父親としての自分は、必死にブレーキをかけている。

相談できる相手が少なかった私は真っ先に妻へ相談した。混乱の渦中にいた私とは対照的に、妻は冷静だった。「分かった。それであなたはやりたいの？やりたくないの？本当に大事なのはそこだよ…。」

私は、即答できなかった自分を情けなくも思ったが、妻の一言にハッとさせられた。

人生の選択ともなる決断であることから、時を同じくして両親にも相談していた。国家公務員として働いていた両親は、国会議員（公人）に挑戦、そして議員活動を行なうことの大変さを心配しながらも「人様に期待されて、人様の役に立てるのは有り難いことだ」と背中を押してくれた。

約1ヵ月の間に、副委員長や職場上長と数えきれないほどの面談を重ね、全員が私の判断を尊重してくれると言ってくれた。しかし、自分の判断が妻や子どもの生活、今後の人生、そして自職場を中心とする会社関係者に大きく影響を与えてしまうかもしれない。そのあまりの重圧に私は押しつぶされそうになっていた。

張り詰めた状態のまま1ヵ月が経った。普段職場では、みんなの前で悩んでいる姿は見せられない。私もできる限り人前では気丈に振る舞うよう平常心を保つことで精一杯だった。ある時、分会長に自分の率直な思いを伝えた。「分会長… 自分はできるなら挑戦してみたい。でも、確実に「当選」できるのか？ 仕事を失うかもしれない。そして家族を苦しめることにも…。そのことを考えると怖い。いっそ断って楽になりたい…。でも、それは自分の本心じゃない…。」その時、分会長はただ黙って聞いてくれた。

浅野 さとし

浅野さとしと友達になろう  
satoshi.asano.564



浅野さとしをフォローしよう  
Asano\_Satoshi



浅野さとしをもっと知ろう  
https://www.asanosatoshi.com/

